



1月園だより



令和6年1月4日
目黒区立田道保育園長

新年あけましておめでとうございます。

昨年の暮れに5歳児クラスがおにぎりパーティーを行い、精米機にかけた米を子どもたちは順番に研ぎました。研いだ米を少し寝かせてガラス鍋で炊きます。しばらくすると米が炊ける匂いがクラス中に広がります。「いいにおいがしてきたね」と米が炊けるのを楽しみにしていました。お米が炊ける間、一つのおにぎりができるのにお米は何粒必要かクイズを出しました。子どもたちは「100粒」「いやもっとだよ。1000粒」と口々に答えます。「正解は2500粒」と伝えると「えー。そんなに」と目を丸くして聞いていました。「米一粒を作る大変さ」を子どもたちに体験してほしいとクラス担任の思いがあり、用務をはじめ、様々な職員が米作りに関わってきました。去年は雨があまり降らず暑い日が続きましたが、たくさんのお米が収穫できました。すり鉢を使い、もみ殻を取る作業を何度も繰り返し行い、真剣な表情で玄米ともみ殻を分けていました。子どもたちのその表情を見ていると「米一粒の重み」を感じ取れていることを実感できました。どの子もおにぎりを口に入れると「おいしい」と笑顔で食べ、その姿からも米を育てた達成感を得たことが伝わってきます。子どもたちは、おにぎりになるまでの過程を知り経験したことで「食」に関わる方々に感謝の気持ちを持って食べてくれると良いと思います。

また子どもたちは育てた稲でしめ縄を作り、田道保育園に関わる全ての人にとって良い年になるようにとの願いを込めて玄関に飾りました。

職員一同、子どもたちの心と体の成長に寄り添い、保護者の皆様と共に子育ての喜びを感じたいと思います。

今月の予定

新年おめでとう会
5歳児クラス懇談会
田道ランド
3歳児クラス懇談会
身体測定・避難訓練



クラス懇談会予定

2歳児クラス
0歳児クラス
4歳児クラス
1歳児クラス



* 乳児お楽しみ会 *



0歳児クラスは『だるまさんが』1歳児クラスは『はらぺこあおむし』2歳児クラスは『3匹の子ぶた』と、日頃から親しんでいるお話を題材に、ペープサートや人形劇をしました。まずは、素敵な音楽に合わせて可愛い犬たちが登場して子どもたちの周りにやってきました。ハンドベルで、きらきら星の演奏も聞きました。はじめは響き渡る音色に不思議そうに聞いていました。「知っている人は歌ってね」と言うと、誰からともなく歌い始め、参加型の楽しい会になりました。0歳児クラスの子どもたちは歌や音楽に合わせて一緒に揺れたり、手をひらひらさせたり、だるまさんの動きに合わせて体を揺らしていました。1歳児クラスの子どもたちは、さなぎから大きなきれいなちょうちょうが飛び出しみんなの頭上を飛び回ると、「わぁぁちょうちょうだー」と歓声を上げていました。2歳児クラスの子どもたちは、おおかみに「子ぶたに、俺がここにいることを教えちゃ駄目だぜ」と言われても、あっさり「あそこにいるよー」と声をそろえて、おおかみの居場所を教えるほど、物語に入り込んでいました。どのクラスも、楽しいひと時を過ごしました。

～子どもたちはイメージを膨らませ、遊びを楽しむクリエイター～

『 友だちと一緒に楽しい! 』

3歳児クラス (ぺんぎん組)

レンガ積み木を横にして友達と一つひとつ丁寧に並べています。「ここはベットにしようね」「玄関がこっち」とやりとりをしながら家の土台を作っています。並べた積み木を積み上げるのがうまく出来ない時は、「ねー先生、ここができないんだ…手伝って」と保育士に助けを求めたりしながら、家を完成させていきます。家ができあがると、緑のカラー積み木を動物のご飯に見立てて食べさせてみたり、ベットに寝かせています。「にゃ～ん。お散歩行ってくる」「早く帰ってきてね」とその動物を動かしながら会話も弾んでいます。隣で遊んでいた保育士の声に「しーっ、今は寝ているから起こさないでね」と言われてしまいました。まだまだ思いのぶつかり合いもありますが、お互いのイメージを出し合いながら遊ぶ姿があちらこちらでみられ、友達と一緒に楽しい!を感じているのではないのでしょうか。



『 様々な玩具を使って 』

4歳児クラス (いるか組)

登園するとすぐに“自分たちの街作り”が始まります。「〇〇くん、おはよう。いま、作ってるよ」と友達に声をかけ、「ここは〇〇くんがやってね」と役割を分担することもあれば、協力し合って大きな駅を作り、1日を通して楽しんでいます。ある日、積み木だけでなく、長積み木やカラー積み木を組み合わせる長い線路を作っている時です。「これをいすにしよう」と言って折り紙の椅子を別の友達が作って持ってきて、人形を座らせてくれました。聞いてみるとそれは駅のベンチでした。積み木の線路の上でブロックの電車が走ったり、折り紙のベンチがあったり、玩具の組み合わせの楽しみ方は無限大であると子どもたちの発想に驚かされました。今日楽しかった遊びがまた明日の楽しみになったり、友達同士の関係も深めていくことにも繋がっているので“やってみたい”、“こうやろう”が沢山できる環境を大切に、友達同士の関わりを見守っていきたいと思います。



『 作って遊ぼう 』

5歳児クラス (くじら組)

空き箱や折り紙、紙テープなど色々な材料を使って制作をしています。個人持ちのはさみ、色鉛筆があるので自由にそれらを使ってアイデアを形にしていいため真剣です。「ここに穴をあけたいの」「この線まで切り込みを入れたい。どうすればいい」など保育士に相談しながらアイデアが形になると「できた!」と喜んでいます。自動販売機、くじ引き屋さん、ガチャガチャなどアイデアがどんどん形になっています。出来上がると店員、お客さん、呼び込み、補充係と役割を担ってやりとりしながら遊びを楽しんでいます。自動販売機の商品が出てくる仕組みもよく考えて、スムーズに商品が落ちてきます。くじ引きの景品は種類が豊富でとてもよく出来ていて、何が出るかわくわく感満載です。イメージしたものを自分たちで作り遊ぶことが面白い毎日です。田道ランド(お店屋さんごっこ)に向けても張り切っています。

